

---

# ナキムシなドール。

夜空 美月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ナキムシなドール。

### 【Nコード】

N3409Z

### 【作者名】

夜空 美月

### 【あらすじ】

魔法学校に突然やってきた転校生。

「お願いします！私の呪いを解いてー!!」

ちょっと待ってそんなこと俺らに出来るの？

ブローグ：転校生に気をつける！（前書き）

下手くそなの承知です…

## プロローグ：転校生に気をつける！

お父様、お母様。

お元気ですか？

私は今日も祝われています。

また転校することになってしまいました。

今日から新しい学校に行きます。きっとまた転校することになるでしょう。

ごきげんよう。

その昔、人々は魔力を手にいれた。個人個人違う魔法を使うようになり、世界の文明開化におおいに役立った。今ではその魔法使いの精度を上げる為の学校に子どもは通うのが当たり前になっている。

「転校生が来たぞ〜！！」

朝、登校して教室に入った最初のひとことがこれだ。おはようも忘れていゝぞと突っ込む気も失せた俺は騒がしい幼馴染みにこう返した。

「女なの？」

健全な男子が転校生で騒ぐ理由なんてそれしか見当たらない。

「おうよ！なんの魔法使いなんだろうねえ？」

「ラン、少し黙ろうか」

こいつの予想大会はうるさいから。まったく…

「なんだよソラトのケチい！オレ泣くよ!？」

「泣いてる」

そんなやりとりをしていると本鈴が鳴って教師が入ってきた。

「席ー、つけー！」

ランの声はでかいから、みんな転校生の存在を知っているようだ。いつもより素直に席に着いた。

「もう知っているヤツもいるだろうが、転校生だ。入りなさい」

ガララ、と教室の扉が開く。

すっとうってきた彼女は黒髪が綺麗に伸びていて背中まで届いていた。

「はじめまして。スピカ・リアシーです。よ…よろしくお願ひします…」

「はい！スピカちゃん質問！」

「は、はい!？」

ランのやつ…ナンパかよ。

「あ、オレ、オランジェット・オーク！ランって呼んで！スピカちゃんはどんな魔法が使えるの?」

それは俺も気になっていた。使える魔法は名前や性格や容姿に表れ

る。彼女はわからない…闇？

でもスピカはすごく強張った顔をした。何故？

「スピカちゃん？」

ランも不思議そうに訪ねる。でも一瞬鋭い瞳めをするとまた笑顔に戻り  
「なるほどー、見てからのお楽しみってわけね」  
と言って質問をやめてしまった。

スピカはというとホツとした表情をしていた。

「ラン、どうしたんだよ？あんな鋭い瞳、何年ぶり？」  
HRを終えたあとランに話しかけた。

ランは一応火の魔法使い。だけど幼い頃から火の扱いよりも危険予知のほうに優れている気がする。こいつは野生動物か。

「んー、野生の勘ってやつ？あの子から危険な匂いがしたんだ」  
「闇？」

「近いけど違う。呪いだよありゃ」

呪い…そんなの遙か昔の魔法大戦争マジカルウォーの時代以来消えたと思っていたのに。

「あんな恐ろしい魔法が現代にもあるのかよ」  
「バカだなあソラトは。消えないよ。人が誰かを恨んでいる限り、  
ね」

ふいにランが笑うのをやめた。俺の背後を凝視している。

「ラ…」

「振り向くな。今振り向くと危ない」

ランは俺の背後を見て、言う。

「何か用かい？スピカちゃん」

ランが声に出さずもついいよと言ったので俺もスピカの方を向いた。

「…っ！す、すみません。ボーツとしていて…」

「おやおや？緊張しすぎて眠れなかったんじゃない？わかるよー！」

ややあつて、スピカが言う。

「私を助けてください」

…え？

「私の呪いに気づいたあなたたちをお願いします！私を助けてくださいー！」

もしかして、とつてもやつかないことに巻き込まれてる…？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3409z/>

---

ナキムシなドル。

2011年12月11日18時47分発行